



# 支える会 セミナー

重症心身障害をもつ人たちにとって、医療は切り離せない関係にあります。この重い障害をもつ人たちが、身近に医療との接点を持ちながら地域で暮らして行くにはどうすればいいのでしょうか。

横浜の社会福祉法人 訪問の家では、2012年10月から多機能型拠点「郷」を開設されました。大阪にも重症心身障害者が地域で暮らし続けられるシステムや拠点がほしいものです。これからの重症児者の地域生活のシステムについて多くのことが学べるものと考え、今回のセミナーを開催致します。会員の皆様はじめ、関係者多数のご参加をいただき、今後重症心身障害者が地域で自分らしく生きていく姿を模索したいと思います。

日時：平成25年1月26日（土）午後1:30～4:00  
場所：大阪市社会福祉研修・情報センター 大会議室  
（大阪市西成区出城2-5-20）  
講演：多機能型拠点「郷」の成り立ち、必要性について  
講師：社会福祉法人 訪問の家  
理事長 名里 晴美氏  
参加費：会員無料、非会員500円 定員：140名  
主催：大阪府重症心身障害児・者を支える会 締切：1月18日（金）

お問合せ・お申込み：  
大阪府重症心身障害児・者を支える会  
〒545-0021 大阪市阿倍野区阪南町5-15-28 育徳コミュニティーセンター2F  
TEL 06-6624-2555 FAX 06-6624-2556  
お申し込みは、氏名、住所、TEL・FAX、所属を明記の上、ファクスにて申し込み下さい。

## 懇親会

尚、17:00より講師 名里 晴美氏を囲んで懇親会を天王寺（魚河岸料理ざこば）にて行います。広くご参加頂きますようご案内致します。ご参加されます方はあわせて明記し、お申込み下さい。  
参加費：3,500円（食事・飲物付）先着40名迄

財団法人 JKA 競輪補助事業  
主催 社会福祉法人 全国重症心身障害児（者）を守る会

## 大阪府重症心身障害児・者を支える会 平成24年度集団指導療育キャンプ



平成二十四年十月二十七日・二十八日、鳥取県西伯郡にて障害をお持ちの方を対象にした療育キャンプ（財団法人JKA競輪補助事業）を実施しました。  
社会医療法人同仁会 耳原総合病院小児科 藤井 健一先生をお招きし、指導のもと在宅の重症心身障害児者が、保護者やボランティア、専門スタッフ、地域の施設・事業所の職員の方々と共に、地域で生きる力と将来への希望を獲得するため、交流と親睦を図るとともに療育についての情報交換の場として位置づけ開催しました。

OTK  
支える会  
No 82

大阪府重症心身障害児・者を支える会  
全国重症心身障害児者を守る会  
大阪支部

## 守る会三原則

決して争ってはいけ  
に弱いもの生き残る場  
親個人が主なる主義張  
も重なりあかなる運動  
党派を超え運動に参加  
最も弱いものを一人も  
もれ無く守る

## 編集後記

師走 国民の審判を問う、衆議院議員選挙が師走十六日に行われ、政権の交代が行われようとしています。  
重い障害をもつ重症心身障害者にとって、この政権交代はどのような意味をもつのでしょうか。  
平成二十五年四月から障害者総合支援法が施行されます。その中身が重い障害をもつ人々にとって生きやすい、暮らしやすいものとなる事を願ってやまないと共に、どんな時代においても、最も弱い人々が幸せであれば、その他の人々も又生きやすい世の中なのだと思わずにはいられません。  
編集委員一同

編集・責任者  
（事務局）〒545 0021  
大阪府大阪市阿倍野区阪南町五 一五 二八  
育徳コミュニティーセンター2F  
TEL 〇六 六六二四 二五五五  
FAX 〇六 六六二四 二五五六  
運営委員長 山村 寿子  
郵便振替口座 〇〇九三〇 九一六九五九八  
大阪府重症心身障害児・者を支える会

発行所 大阪府身体障害者団体定期刊行物協会  
〒530 0054  
大阪市北区南森町一三二一〇一五〇七  
定価 五〇〇円  
（会員の方は会費の中に含まれています）

## 「支える会」事務局

〒545-0021  
大阪市阿倍野区阪南町5-15-28  
育徳コミュニティーセンター2階  
大阪府重症心身障害児・者を支える会  
会長 山村 寿子  
TEL 06-6624-2555  
FAX 06-6624-2556  
<郵便振替> 00930-9-69598

## 支える会ホームページのご案内

ドメイン名 <http://www.sasaeru.or.jp/>  
メールアドレス [osaka@sasaeru.or.jp](mailto:osaka@sasaeru.or.jp)  
様々な御意見・御質問や情報をメールや掲示板にお寄せ下さい。  
全国・各地へリンクあり!

## 療育キャンプに参加して



今回の鳥取・大山のバス旅行に初めて母で参加させて頂きました。とにかく大阪近郊から出た事がなく、お泊りする事は養護学校在学中の修学旅行以来の出来事でした。

2度の骨折のため、左足が棒の様で曲がりませんし、長時間のバスで座位のままでの移動は大丈夫かなと思う不安もありましたが、娘にとって未知の世界であろう生活の変化を、一日でいいから体験させてあげたいと願う母の強い想いがありました。

娘の康子は、先天性脳性マヒ・小頭症として生まれました。病院廻りばかりの子ども時代でした。養護学校卒業後は、23年間在宅生活を送っておりました。そして現在は、大阪発達総合療育センター・フェニックスにて皆様の温かな介護・医療に見守られながら、安心して楽しく生活させてもらっております。

入所から5年間でたち、47才になりました。笑顔の日もあれば、暴れまわり食事も摂れない事が多くあったり、とにかく体調の変化が激しく情緒不安定なのです。

口では表せない何かを訴えているのだと、出来るだけ近くの長居公園へ散歩に出かけたり、面会をして娘が毎日を平穏に過ごせる様に努めて来た5年間でした。

そんな折に、大阪府重症心身障害児・者を支える会より大山療育キャンプの案内を頂き、「これだ!」「行って見よう!」「何か変化が起こるかも知れない!」とひらめいたのでした。地図を見ると、遠い・遠い島根県の近くまで行くのですから距離の遠さに驚きましたが、バスの中は楽しくて本当に「あっ」という間でした。支える会のスタッフ・ヘルパーの方々は、献身的な行き届いた支援のおかげで重症心身障害者達が遠い土地の風景にふれられ、新しい刺激を受けて、楽しく和やかな旅行を体験できて本当に喜んでいる事と思います。私も今回初めて参加させて頂き、皆様子ども達に対しての深い愛情、熱きパワーに接し感動・感動の旅となりました。

お世話になり本当に有難うございました。心より御礼を申し上げます。旅行から帰って来てから、数日後より「アレー?」と思う事が起こっています。まず目つきが生き生きし、顔がグッと引き締まった様に感じます。これまでの康子は、奇声を発して暴れる日も多く、いつも車椅子の上で動き回る廻っていましたが表情が明るく、どっしりと落ち着きが出て来ました。この変化に夫も私も驚いております。

あの時の決断が、こんなに大きく康子を変え、成長させてもらえた事は何と嬉しい事でしょう。少し大人びて自信あふれた笑顔を見ていると、永年の色々な胸のつかえが溶けて行く様です。多くの体験が子ども達にとって、いかに大切かという事が良く解かりました。

途中、お土産に買った「目玉おやじ」の枕クッションが大のお気に入り、ベッドに入り抱えてニコニコしています。きっとゲゲゲロードで出会った妖怪達や雄大な大山、初めて入った露天風呂等の楽しかった思い出の夢を今夜も見る事でしょう。

「たくさんの夢を見て、いつも元気に明るく一日一日を大切に過ごして行こうね。やっちゃんのお笑顔、お父さん・お母ちゃんの元気の源ですよ。」とバイバイして今日も一日を終えました。

療育キャンプは、この様な素敵な心安らぐ旅を母娘にプレゼントして下さったのでした。有難うございました。

小澤 節子

## 北浦雅子さん 名誉都民に



全国重症心身障害児(者)を守る会の北浦雅子会長(91)が、2012年度の東京都名誉都民に選ばれた。1日に都庁で顕彰式があった。

北浦さんは、次男の尚さんが生後7カ月の時に種痘後脳炎の後遺症で脳性小児まじりになったことから、重症児者の福祉向上のため同じ境遇の親たちと1964

年に会を結成。78年に会長に就いた。今回「半世紀にわたり第一線で活躍する姿は志を同じくする後継の範となつて

いる」と功績をたたえられた。称号を受け北浦さんは「これは重症児者に頂いたもの」に都に感謝。「会結成当時、国は「障害が重く社会の役に立たない者にお金は使えない」という姿勢だったが、私たちは、一番弱い者を切り捨てることは次に弱い者が切り捨てられることにつながると訴えてきた。どんなに障害が重くても輝く命の可能性があり、私たちの方が教えられ育てられる」と話している。

福祉新聞 2012年10月22日発行 第2595号に全国重症心身障害児(者)を守る会北浦雅子会長が東京都名誉都民に選ばれた記事が掲載されました。

## 平成二十四年度近畿ブロック研修会

### 「この子らを世の光に」 参加報告

十一月二十三日、立命館大学くさつキャンパス・ローム記念館大会議室で開催されました。祝日ではありましたが多くの学生さんも通学されていて、広く美しいキャンパスでの研修会でした。

「障害者総合支援法」と当事者・保護者として十分な理解ができないままコロコロと移り変わる法律・制度についてわかりやすくお話をいただきました。午後は、「滋賀県重症心身障害児者の福祉」と題してびわこ学院大学教授・遠藤先生の基調講演で始まり、重症心身障害福祉のあゆみを振り返り、糸賀先生が言われる「異質の光」

を放つ重症児者がみがきをかけ輝き、世の光となる社会にむけ私たちに何が出来るのかを考えさせられました。

続いて、びわこ学園障害者支援センター長・田村氏からびわこ学園の地域支援のとりくみの報告がありました。びわこ学園を中心とした支援の層の厚さ、うらやましく思いました。

最後の「皆と語ろう」では会場から超重症児への対応、訪問看護との連携、後見人、親の会の高齢化など多くの意見が交わされました。支える会が関わっている大阪府の「重度心身障がい児(者)の地域ケアシステム整備事業」が滋賀県のような一人ももれなく受け止めていく地域づくりへの整備となるようにとの思いをさらに強く感じた研修会でした。(長谷川)







# 「クリスマス会」

12月15日(土)、12:00より大阪市立早川福祉会館に於いて「2012年クリスマス会」を行いました。

障害当事者25名とご家族、ヘルパーさん、ボランティアさんを含め総勢90名が、熱気が立ち込める中、賑やかに話しも弾み楽しむことができました。

当日はフラスタジオ マルラニさんの南国を思わせる優雅なフラダンスで始まりました。

また、岡山から駆けつけて下さった内海淳子さんのアルパ演奏に耳を傾けました。内海さんのお話の中に、岡山県の重症心身障害児施設「旭川荘」に演奏に度々行かれてしていると聞き、どこかで「繋がっている！」と感じずにはいらませんでした。

そして、大阪ゆとりライオンズクラブさんからは、10名の皆様がお出で頂き参加者との歓談やビンゴゲームを行って下さいました。軽妙な話術とたくさんの賞品やプレゼントに会場は大喜びでした。

日頃、施設から又自宅からも出かけづらい重症心身障害をもつ人々が、音楽に耳を澄まし、たくさんの人の声かけや賑やかな雰囲気笑顔がほころんでいました。

今回のクリスマス会の目的でもある、一人一人の笑顔に出会い、とても心の和むクリスマス会となりました事、また、お手伝い頂きました皆様、ボランティアさん本当にありがとうございました。

今後もこのような機会をもち、どんなに重い障害をもっていても当たり前前に生きることを、楽しみたいと思います。



## 施設見学

さる11月12日に重症心身障害児・者施設 枚方療育園を見学して来ました。

広大な土地に、新しく立派になった建物の広々としたエントラホールに圧倒されました。事務長から、重症病棟300床・ショートステイ30床。現在、精神病棟を建て替え中で100床・重症を含むショート10床の増床等の施設内の概要を説明して頂きました。次にケースワーカーの諏訪田様より、入所・通園・ショート等の現状をDVDとスライドで説明して頂きました。

療育の目標は、全人療育の向上で

その人らしい生命の保持・保全

健康で快適な規則正しい生活

環境への適応と心身の自立 と説明されました。

問題点として、

医師の確保・看護師の確保

通園の送迎が難しい

行事等の家族の参加が少ない

入所者の高齢化に伴う急変等でした。

その後、重症病棟(8病棟)・精神病棟の施設内を見学させて頂きました。2病棟の見学では、事務長より医療的ケアが必要な方はナースステーション隣の3病室(4人部屋)との事で、体調が悪くなられた方の家族の為に、別に控室が2部屋あるとのことでした。プレイルームは床暖房である事。厨房・洗濯・清掃等は委託でなく職員である事。入所者にガーデニングを親んでもらう為に畑がある事。オムツは紙オムツでなく布である事等、枚方療育園ならではの特色が伺えました。

枚方療育園は大阪府内で一番大きな施設です。

今後は中心になって施設間や家族間の交流をし、入所者にとっても在宅者にとっても居心地の良い施設であるよう意見交換が出来ればと思いました。

Y・Y

## 「支える会」入会のご案内

大阪府重症心身障害児・者を支える会

(全国重症心身障害児(者)を守る会の大阪支部)への入会について

ご案内いたします。



- 【個人会員】 年会費 8,400円  
本部発行「両親の集い」、本会発行「支える」購読料含む  
年会費 3,600円  
本会発行「支える」購読料含む
- 【法人・団体会員】 年会費 10,000円(1口)  
本部発行「両親の集い」、本会発行「支える」購読料含む
- 【協会員】 年会費 3,000円(1口)(運営資金の協会員)  
本会発行「支える」購読料含む

申込み・問い合わせは事務局までお願いします

## 会費納入のお願い

既に納入がお済みの方にはあしからずお許しを賜りますようお願い申し上げます。

<問い合わせ>

TEL 06-6624-2555

FAX 06-6624-2556

<郵便振替>

00930-9-69598

大阪府重症心身障害児・者を支える会

